



# Fashion Channel News

- May, 2018 -

- #1498 2018 Spring/Summer Milan Collection part 3  
[収録ブランド] マックスマラー / モスキーノ / エムエスジーエム /  
ヌメロ・ヴェントゥーノ / ブラダ
- #1499 2018 Spring/Summer Milan Collection part 4  
[収録ブランド] ロベルト・カヴァリ / サルヴァトーレ・フェラガモ /  
シーナ / トッズ / ウジヨー / ヴェルサーチ
- #1500 2018 Spring/Summer Paris Collection part1  
[収録ブランド] アクネ・ストゥディオズ / アルチュザラ /  
アンドレアス・クロンターラー・フォー・ヴィヴィアン・ウエストウッド /  
アンリアレイジ / カルヴェン
- #1501 2018 Spring/Summer Paris Collection part2  
[収録ブランド] ディオール / ドリス・ヴァン・ノッテン /  
ハイダー・アッカーマン / イッセイ・ミヤケ / ジュンコ・シマダ



7-17-14 Roppongi Minato-ku Tokyo 106-0032  
TEL. 03-3746-3323 FAX. 03-3408-5549  
URL. <http://fashionnews.co.jp> E-MAIL. [info@fashionnews.co.jp](mailto:info@fashionnews.co.jp)

## Collection

#1498-#1499

性別や文化、時代の枠を超えたミックススタイルが台頭  
2018 春夏 ミラノコレクション



ここ数シーズン、ミラノではデザイナーの世代交代が進んでいる。2017-2018 秋冬シーズンよりフランチェスコ・リッソによる新体制となった「MARNI(マルニ)」をはじめ、今シーズンは「JIL SANDER(ジル・サンダー)」「ROBERTO CAVALLI(ロベルト・カヴァリ)」が新たなクリエイティブ・ディレクターを迎えた。また、「GUCCI(グッチ)」「BOTTEGA VENETA(ボッテガ・ヴェネタ)」「ATSUSHI NAKASHIMA(アツシ・ナカシマ)」ら男女合同ショーを行うブランドが増加しているのも特徴だ。番組では変革が進むミラノから 22 ブランドのランウェイショーを紹介する。



2018 春夏の注目トレンドは、性別や文化、時代の枠を超えたミックススタイル。素材から色、柄、テイストにいたるまで、あらゆる要素を複雑に絡み合わせ、一つのアイテムに落とし込む。フリンジや切りっぱなしを多用した野性味あふれるスタイル、スポーツウェアにクチュールテイストをプラスしたスタイル、インパクトの強い柄を同時に使ったスタイル、世界各地のリゾートウェアをミックスしたスタイルなど、ミラノのデザイナーたちはブランドのアイデンティティーを加味しながら新時代のミックススタイルを完成させた。また、フリルやラッフル、トランスペアレント使いといった女性的なディテールの増加で前提的に華やかさが増している。



ブランドアイコンである GG モチーフを多用し、ブランドのアイデンティティーを最大限に主張したのはアレサンドロ・ミケーレ率いる「GUCCI」。“The act of creation as an act of resistance”をキーワードに、1980 年代のディスコシーンと世界各地の民族衣装のディテールをミックスしたスタイルを提案した。ゴールドのスパンコールを全面にあしらったリボンドレス、中国のディテールやハワイのトロピカルプリントをミックスしたドレス、エルトン・ジョンとのコラボアイテムなど、一つのコーディネートに様々な要素が混在している。透け感のある素材を重ねたレイヤードの妙にも注目。

透け感のある素材を重ねたレイヤードの妙にも注目。

一方、「JIL SANDER」は Lucie Meier(ルーシー・メイヤー)・Luke Meier(ルーク・メイヤー) 夫妻がクリエイティブ・ディレクターに就任して初のコレクション。ミニマルな白シャツにブリーツやギャザーをプラスしてドレスに落とし込んだ。オーガンジーで仕立てた格子柄のマキシ丈ドレスはトランスペアレントな素材感を最大限に生かしたアイテム。ホワイト、ブラック、ネイビーのモノトーンカラーでまとめられたスタイルは、ミニマリズムを追求するブランドの DNA を引き継ぎながら、新生「JIL SANDER」の息吹が感じられるコレクションとなった。

## Collection

#1500-#1501

透ける素材を重ねて見せるロマンティックルックとは？  
2018 春夏 パリコレクション



2018 春夏パリコレクションが2017年9月26日～10月3日の8日間にわたって開催された。参加ブランドは83。ミラノ同様、ロマンティックで装飾的なスタイルが提案された。

注目トレンドは透け感のある素材を重ねたレイヤード、ブラトップやキャミソール、コルセットなどのアンダーウェアをドレスの一部として見立てたスタイル、肩回りやスカートに極端に長いフリンジで飾ったヘム、フェザーで軽やかさを演出したフェミニンスタイルなど。アイテムでは透け感やカラーバリエーションで変化を持たせたトレンチコート、ハンカチーフヘムやイレギュラーヘムなどで動きを与えたアシンメトリースカート、スポーティーなトラックパンツが多数提案された。



Anthony Vaccarello(アンソニー・ヴァカレロ)がデザインする「SAINT LAURENT(サンローラン)」は、老舗ブランドとしての地位を築き上げたムッシュ・サンローランとピエール・ベルジェに捧げるコレクションを披露した。2人のゆかりの地であるモロッコ・マラケシュ由来のチュニックや透け感のあるケープ、レザー素材のショートパンツ、ミニスカートなど、エキゾチックなスタイルを揃えた。レースやチュール、フェザーで飾ったゴージャスなアイテムは熟練のクチュリエを揃えるブランドならではの。ステージが設けられたテルカデロ広場からキラキラ輝くエッフェル塔がのぞく最高のシチュエーションで、来場者から喝さいを浴びた。



「DRIES VAN NOTEN(ドリス・ヴァン・ノッテン)」は1920年代のアルデコから1980年代のファブリックまで、幅広い年代のディテールをつなぎ、重ね合わせて一つのアイテムを完成させた。得意とするプリントモチーフはボタニカルからペイズリー、幾何学、ヒトデと多岐にわたる。オーガジーを重ねたチェックのテーラードスーツ、ビ

ジュを飾ったエアリーなスリッパドレスなど、いつものワードローブに軽やかなシアー感をプラスしている。